

令和6年4月

1年生のみなさん

すみだくりつだいさんあすましようがっこう
墨田区立第三吾嬬小学校

こうちょう かわなこ としお
校長 川中子 登志雄

こうちょうしつ あんしょうちやれんじ
校長室「暗唱チャレンジ」について

- 1 ^{あんしょうかだい} 暗唱課題は ^{まいつき} 毎月はじめに ^し お知らせします。みなさんに ^{くば} 配られるタブレットで ^み 見るができます。(初めのうちは、^{はじ} プリントも ^{くば} 配ります。)
- 2 ^{こえ} 声を出して、^{なんど} 何度も ^よ 読んでください。^{ともだち} 友だちや ^{かぞく} 家族に ^き 聞いてもらおうと ^{いい} いいです。
- 3 ^{ぜんぶ} 全部覚えたら、^{こうちょうしつ} 校長室まで ^{はっぴょう} 発表にきてください。
- 4 ²⁰ 20分 ^{やすみ} やすみと ^{おひる} お昼やすみにきてください。
- 5 ^{はじ} 始めに「^{ねん} 〇年 ^{くみ} 〇組の ^{〇〇〇〇} 〇〇〇〇です。」と ^じ 自己 ^{こしょうかい} 紹介してください。
- 6 ^{おぼ} 覚えたものを ^{げんき} 元気に ^{はっぴょう} 発表してください。
- 7 ^{ぜんぶ} 全部言えたら ^{ごうかく} 合格です。^{ごうかく} 合格した ^{ひと} 人には、あとで ^{しょうじょう} 賞状 ^さ を ^あ 差し上げます。
- 8 ^{ごうかく} 合格した人は、^{がくねん} 学年・^{くみ} 組と ^{なまえ} 名前 ^か を書いてもらいます。

さあ、^{なんど} 何度も ^{こえ} 声 ^だ に出して
^よ 読んで ^{おぼ} 覚えましょう！



令和6年4月10日

暗唱だより「校長室より」

新入生・保護者の皆様へ

墨田区立第三吾嬬小学校

校長 川中子 登志雄

第三吾嬬小学校では、子供たちの「ことばの力」を育成するために、国語の授業に力をいれております。「ことば」は、すべての学習の基盤であるばかりでなく、私たちがものを考える(思考する)上で最も重要な道具です。ことばが豊かになると、感情も豊かに表現できるようになり、自制心も育ちます。

「ことば」の学習にはいろいろな方法がありますが、何よりもいいのは本を読むこと、読書です。学校では、普段の授業以外にも、図書ボランティアさんによる「読み聞かせ」や「朝の読書タイム」なども行っております。

さらに、「ことばの力」を高める方法の一つとして、「校長室暗唱チャレンジ」という取組も行っております。これは、月ごとに、校長から子供たちに暗唱の課題が出され、自分で覚えて、校長室で発表するという取組です。(別に配布した暗唱だより「校長室より」をご参照ください。)

子供たちには難しい古典なども課題に出しています。意味がよく分からないのに、というご心配もあるかと思いますが、それでも古典などの名文や和歌、俳句、詩を暗唱することで、子供の脳の中に、豊かな語感と語彙が形成されていきます。また、子供の柔らかい頭で覚えるのは、大人よりもたやすく、そして子供の時に覚えたものは大人になっても残っているものです。いつか、「あれはこういう意味だったのか。」と気付く日がやってくるでしょう。さらに、古典などの一節をそらんじることは、子供たちの「教養」を高めることにもなります。

学校では、家で練習するように子供たちに声をかけます。お時間があれば、聞いてあげて、一緒に声を出して読んでいただけるといいです。お子さんを、励ましてあげてください。

課題は任意のもので、子供が自主的にやりたくなるように仕向けていくつもりですがご家庭でも応援していただけると助かります。ただ、お子さんに無理に取り組ませなければならないものではありませんので、あくまで「自主的な取組」としてお考えください。

昨年度は、日本語11作品、英語6作品に取り組み、多くの子供たちが取り組み、すべての作品に合格した人(「グランドスラム」達成)は日本語64名、英語40名でした。今年度も、多くの子供に賞状を渡すことができるといいと思っております。

(1年生から6年生まで同じ課題に取り組みます。各課題は後からでも挑戦できます。)